

ハイローベッド&チェア

ユラリズム
ユラリズム クッション EW

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げ
いただき、ありがとうございます。

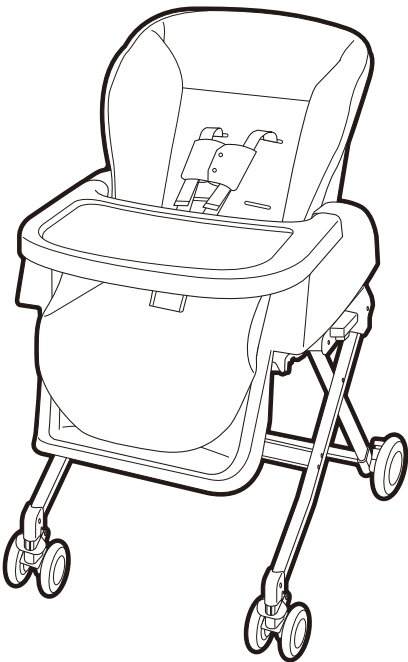
この製品は室内用の新生児※ から48カ月
(参考体重18kg)までのお子さま1人用
簡易ベッド、兼用チェアです。

※ここでの新生児とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週
以上の乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用
については、医師にご相談ください。

ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読み
のうえ正しくお使いください。

お読みになった後は、本書はいつも取り出せる
場所に必ず保管してください。

本書に記載されている以外の方法で使用しない
でください。製品の機能が充分発揮できないだ
けでなく大変危険です。



目次

はじめに

ご使用前に	1
製品を取り出した時に	1
使用条件	2
ご使用上の注意	3
本書の表示について	3
警告	3
注意	6
各部の名称	7

使用方法

高さ調節のしかた	8
移動のしかた	8
お子さまの乗せ方	9
肩ベルトの高さ調節／肩ベルトの収納	11
リクライニングの使い方	12
足のせの使い方	12

使用方法

テーブルの使い方	13
スウィングの使い方	14
縫製品の使い方	15
縫製品の取り外し方	15
腰ベルトの取り外し方・取り付け方	17
股ベルトの取り外し方	17
縫製品の取り付け方	18

お手入れ／その他

日常のお手入れ	19
縫製品の洗浄方法／車体のお手入れ	19
保管について	20
廃棄について	20
SGマーク制度について	20
保証とアフターサービスについて	21
保証書	22

・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

ご使用前に

保護者の方へのアドバイス

本製品は、室内におけるお子さま用の簡易ベッドや、チェアとして使用されることを目的としています。

〈製品の使用時間〉

- ・スウィングは1回15分以内。
- ・スウィングのくりかえしは60分以内が望ましい。
- ・1日の使用時間は合計3～4時間までが望ましい。

〈使用できるお子さまの年齢〉

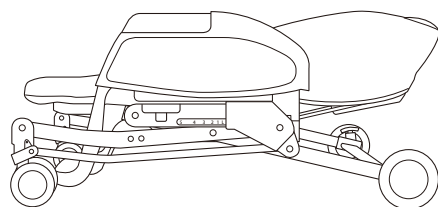
- ・簡易ベッド：新生児からひとり座りできるまで（月齢の目安は7カ月、参考体重9kg）
- ・チェア：ひとり座りができるようになってから48カ月まで（参考体重18kg）
※リクライニング③（P2参照）のみ、ひとり座り出来る前からご使用いただけます。

製品を取り出した時に

- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。（P21参照）
- ・ご使用前に、P22「保証書」に次の項目をご記入ください。
 - ①品番、ロット番号（P7「各部の名称」参照）
 - ②お買い上げ年月日
 - ③お客様のお名前、住所、電話番号
 - ④販売店名
- ・レシート（領収書）を本書と一緒に保管してください。（P21参照）

本体

・箱から取り出した時は高さが最下段の状態です。（高さ調節のしかたはP8を参照してください。）



付属品



テーブル
（本体に装着されております。）



取扱説明書／保証書
（本書）

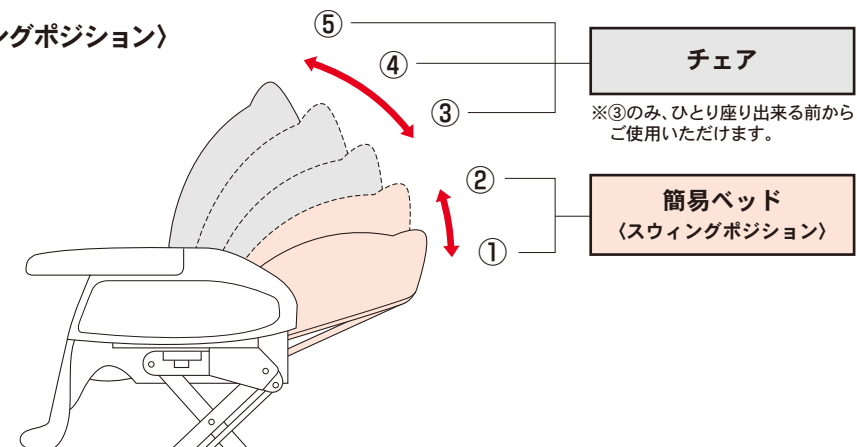


・製品が入っていた箱、梱包部材、緩衝材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。
お子さまがかぶったり、誤飲して窒息するおそれがあります。

使用条件

- ・お子さまの発育に合わせて使用してください。
- ・月齢の表示は目安です。お子さまの発育により個人差があります。

〈リクライニングポジション〉



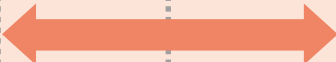
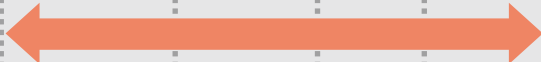
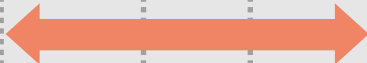
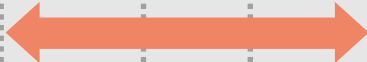
チェア

※③のみ、ひとり座り出来る前から
ご使用いただけます。

簡易ベッド

〈スウィングポジション〉

発育の状態の目安	新生児※	首がすわる	ひとり座りが できる	18カ月	36カ月	月齢 48カ月
月齢の目安 参考体重	0カ月 2.5kg	2,3カ月頃 7kg	7カ月頃 9kg			18kg

リクライニングポジション						
簡易ベッド	①					スウィング 使用可能
	②					
チェア	③	  				スウィング 使用不可
	④					
	⑤					
シートベルト						
肩ベルト	 座高 46cm までは必ず使用				座高46cm以後は 収納する	
腰・股ベルト	 36 カ月までは必ず使用				 任意	

※ここでの新生児とは、出生時に体重2.5kg以上かつ胎週数37週以上の乳児を指します。
この条件を満たさないお子さまへのご使用については、医師にご相談ください。

本書の表示について

・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表 示 の 内 容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

禁止図記号	表 示 の 意 味
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

 アドバイス	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。
--	------------------------

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用の前に必ず取扱説明書をよく読みいただき、正しくご使用ください。

 **警告**

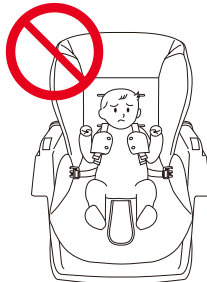
誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちるおそれがあります。

お子さまが座高46cm(参考月齢18カ月)未満の時は、肩ベルト、肩ベルトカバーを外して使用しない。



36カ月までは腰ベルト、股ベルトを外して使用しない。



お子さまを座席や背もたれ、ステップなどに立たせない。



お子さまを乗せたまま走行させない。はずみをつけたり、つき放したりしない



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

製品が転倒するおそれがあります。

傾斜や段差のあるところで移動および使用しない。



2人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



お子さま一人で乗り降りさせない。



お子さまが手を掛けたり、よじ登ったりなど、外から力を加えない。



お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。



シートベルトを締めつけていても、お子さまから目を離さない。

可動部などに手足を挟み、けがをするおそれがあります。



スウィングさせる時以外、スウィングロックを解除しない。

バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。



お子さまを乗せたまま持ち上げない。

お子さまがかぶったり、誤飲して窒息するおそれがあります。



製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。

〈次ページに続く〉

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

思わぬ事故につながるおそれがあります。

一時的なお昼寝などには使用できますが、夜間就寝用など長時間のベッドとして使用しない。



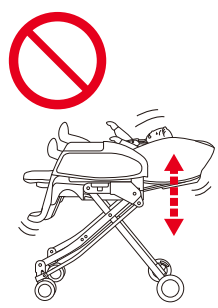
スウィングは保護者が行い、必ず付き添っていること。またスウィングは1回15分を目安とし、それ以上の連続したスウィングを避ける。



お子さまの身体をテーブルやアームレストから乗り出させない。



お子さまを乗せたままで高さ調節をしない。



お子さまに衝撃が加わるほど強くスウィングさせない。



暖房器具などの付近では使用しない。



- ・お子さまを乗せたまま1人で放置しない。
- ・ストッパーで車輪をロックしていても、お子さまが乗っている時は目を離さない。構造上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。
- ・毛布などを使用される時は可動部に挟まれないように注意すること。また、毛布などを無理に引っ張ったりしないこと。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、製品が身体にぶつかるなどして、けがをするおそれがあります。

高さ調節やリクライニング操作時、スウィング中はお子さまを周りに近づけない。



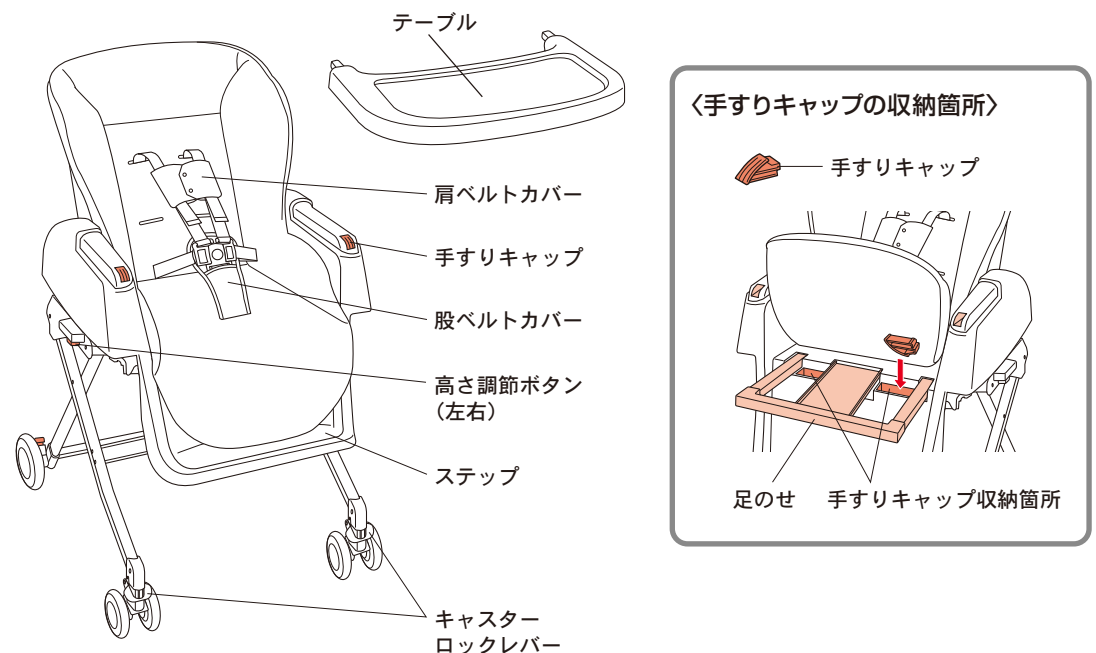
製品が破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- ・簡易なベッド状態は新生児からひとり座りができる(参考月齢7カ月)まで以外のお子さまに使用しないでください。
- ・チェア状態は腰がすわって(ひとり座りができる)から48カ月(参考体重18kg)以外のお子さまに使用しないでください。
- ・お子さまに製品を操作させない。
- ・お子さまの遊び道具として使用しない。
- ・シートを外した状態で使用しない。
- ・急激に力を加えたり、落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった製品は使用しない。
- ・弊社サービス員以外は分解、組立て、改造をしない。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

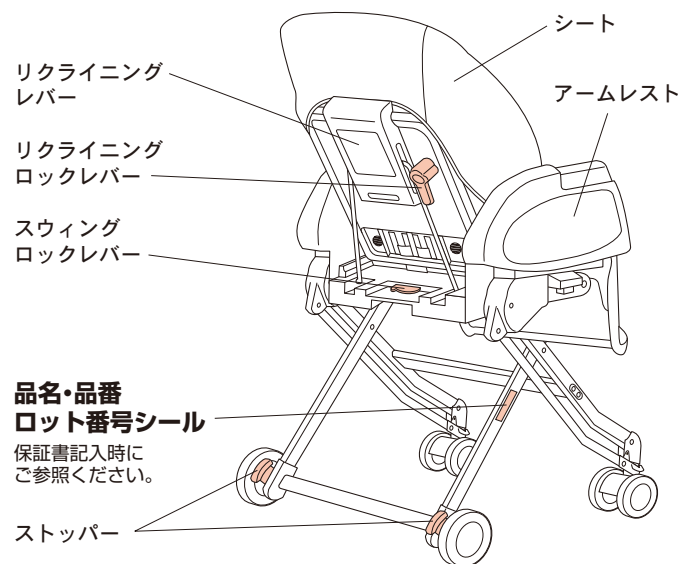
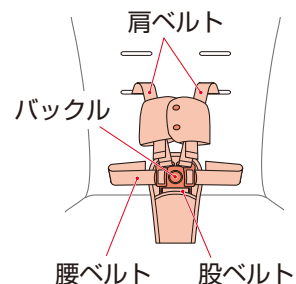
- ・必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
- ・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しないでください。
- ・移動させるときに、キャスターとストッパーをロックしたまま横すべりさせないでください。床面を傷つけるおそれがあります。
- ・火気及び温風機の付近など、高温になる場所に放置しないでください。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- ・その他、故障の原因となるようなことはしないでください。
- ・荷物などの運搬に使用しないでください。
- ・踏み台として使用しないでください。
- ・保護者、介護者などが、製品に腰掛けしないでください。
- ・屋外で使用しないでください。
- ・その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。

各部の名称

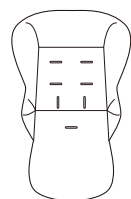


〈シートベルト〉

・シートベルトは、肩ベルトと腰ベルト、股ベルトの総称です。



〈縫製品〉・縫製品は製品に取り付けられています。



シート



新生児マット



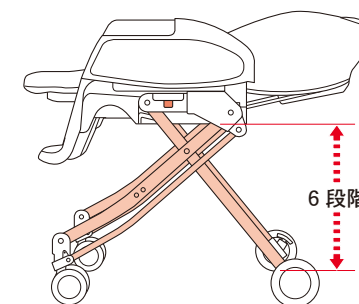
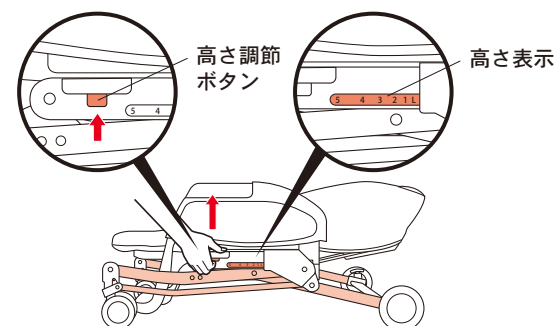
肩ベルトカバー



股ベルトカバー

高さ調節のしかた

- ・お部屋や利用するときの状態に合わせて、高さを6段階(L⇔1⇔2⇔3⇔4⇔5)に調節できます。
- ・最下段の「L」は、簡易ベッドやチェアとしてご使用いただけますが、収納ポジションのためスウィングはできません。



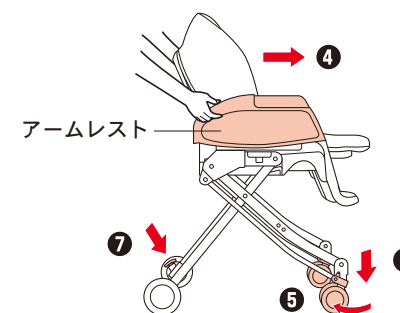
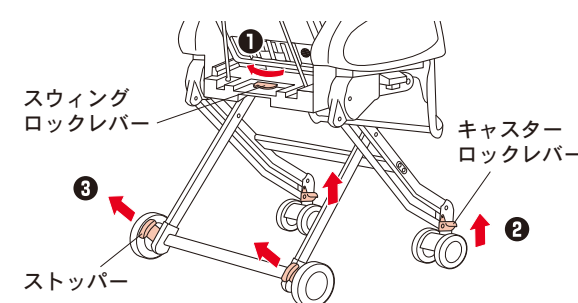
- ① 本体を少し持ち上げ、左右の高さ調節ボタンを押し込み、本体の高さを調節する。
- ② 利用する高さにして、高さ調節ボタンから指を離す。
- ③ 固定されていることを確認する。
- ④ 左右の高さを確認し、高さが違う場合は、もう一度やりなおす。



- 警告
- ・お子さまを乗せたままで高さ調節をしない。
 - ・高さ調節をするときは本製品の脚などで手、指などを挟まないように注意してください。
 - ・高さ調節は、お子さまが接触した状態や近くにいるときには行わない。可動部での子どもの指や手足を挟んだり、製品本体が身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。

移動のしかた

- ・室内で向きを変えたり、移動するときにキャスターを使用します。
- ・移動しないときは、必ずキャスターとストッパーをロックしてください。



- ① スウィングロックレバーを左に動かし、ロックする。
- ② キャスターロックレバーを上げ、ロックを解除する。(左右)
- ③ ストッパーを上げ、ロックを解除する。(左右)
- ④ 両手でアームレスト部を持って移動する。
- ⑤ キャスターを内向きにする。
- ⑥ キャスターロックレバーを下げ、ロックする。(左右)
- ⑦ ストッパーを下げ、ロックする。(左右)



- 警告
- ・移動時は車輪、キャスターの回転部などで手、指などを挟まないように注意してください。
 - ・移動させるとき以外は、必ずキャスターとストッパーをロックしてください。
 - ・本体を持ち上げて移動するときは、テーブルを持たない。テーブルが外れ、本体が落下するおそれがあります。
 - ・お子さまを乗せたまま走行したり、はずみをつけたり、つき放したりしない。

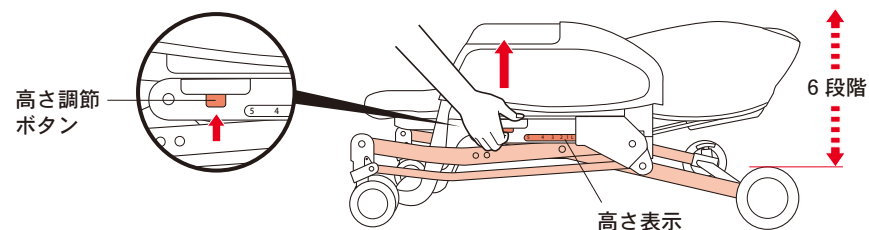


- 注意
- ・移動させるときに、キャスターとストッパーをロックしたまま横すべりさせないでください。床面を傷つけるおそれがあります。

1 準備

〈高さを調節する〉

・本体を少し持ち上げるとスムーズに調節できます。



- ① 本体を少し持ち上げ、左右の高さ調節ボタンを押し込み、左右が同じ高さになるように本体の高さを調節する。
- ② 利用する高さにして、高さ調節ボタンから指を離す。
- ③ 固定されていることを確認する。
- ④ 左右の高さを確認し、高さが違う場合は、もう一度やりなおす。

〈キャスターとストッパーをロックする〉

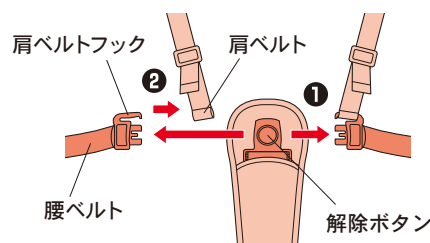


- ① キャスターを内向きにする。
- ② キャスターロックレバーを下げ、ロックする。(左右)

- ③ ストッパーを下げ、ロックする。(左右)

・ストッパーは押し込み方向に向かってまっすぐ下げてください。
・下げにくい時は車輪を前後に動かしてから下げてください。

〈シートベルトを外す〉

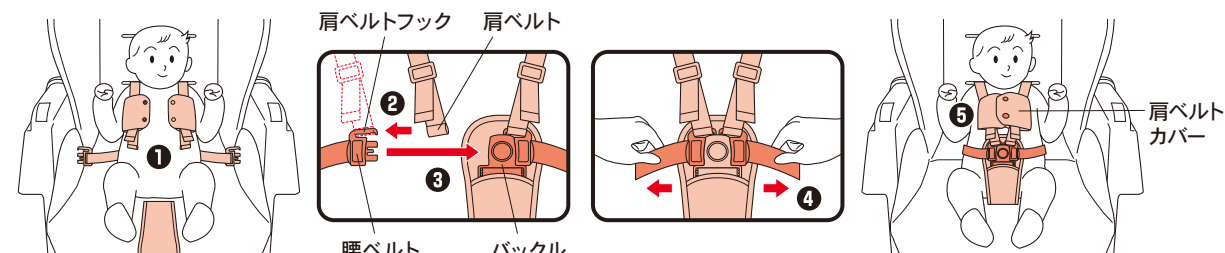


- ① バックルの解除ボタンを押し、腰ベルトを外す。(左右)
- ② 肩ベルトを肩ベルトフックから抜く。(左右)



・お子さまを乗せたままで高さ調節をしない。
・高さ調節をするときは本製品の脚などで手、指などを挟まないように注意してください。
・高さ調節は、お子さまが接触した状態や近くにいるときには行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、製品本体が身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
・移動時は車輪、キャスターの回転部などで手、指などを挟まないように注意してください。
・移動させるとき以外は、必ずキャスターとストッパーをロックしてください。

2 お子さまを乗せてシートベルトを締める



- ① お子さまを乗せる。
- ② 肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。
- ③ 腰ベルトをバックルに差し込む。
- ④ 左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。
- ⑤ 肩ベルトカバーのホックをとめる。



・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

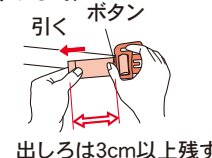


・シートベルトを締めた後は、左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
・肩ベルトは必ず肩ベルトフックに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。車体の転倒やお子さまが落ちるおそれがあります。

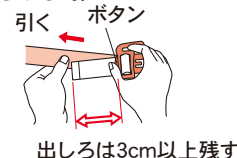
3 ベルトの調節

腰ベルト

〈締める時〉



〈ゆるめる時〉



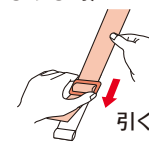
- ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

肩ベルト

〈締める時〉



〈ゆるめる時〉



- アジャスターを引き、長さを調節する。

股ベルト

〈締める時〉

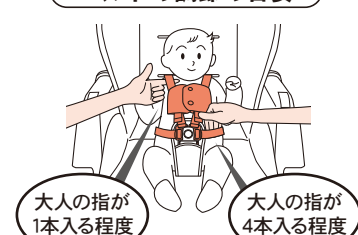


〈ゆるめる時〉



- ① ベルトを矢印の方向に送り、
- ② ベルトを引き、長さを調節する。
- ③ ベルトの調節後、バックル裏のホックを股ベルトカバーにとめる。

ベルトの調節の目安



・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
・肩ベルトカバーは必ずホックをとめて使用する。
・腰ベルトの末端の出しろ(部分)は必ず3cm以上残す。
・リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。

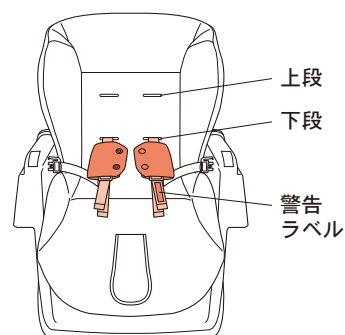
肩ベルトの高さ調節／肩ベルトの収納



・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

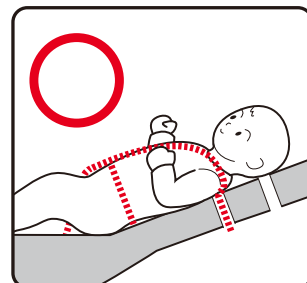
〈肩ベルト位置〉

・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

・肩の位置より下段に通す。



・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

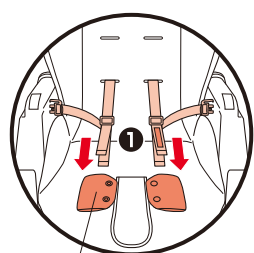
・肩ベルトの位置は以下の2段階に調節してください。

月齢の目安	肩ベルト通し穴位置
2カ月頃まで	下 段
3カ月頃から	上 段

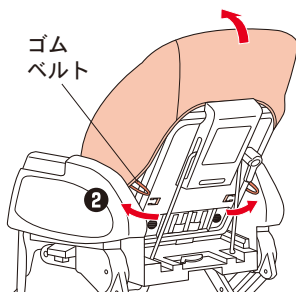
※上記表示は目安であり個人差があります。

・座高46cm(参考月齢18カ月)まで使用。以後は使用不可。(収納する)

肩ベルトの高さ調節のしかた／収納のしかた



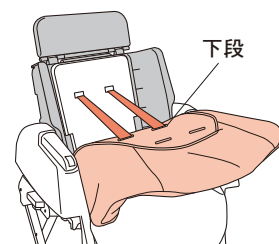
肩ベルトカバー



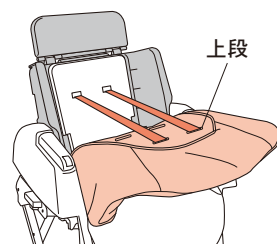
ゴムベルト

- ①バックルを押して肩ベルト、腰ベルトを外し、肩ベルトカバーを外す。
- ②背もたれ背面のゴムベルトを外し、シートをめくる。

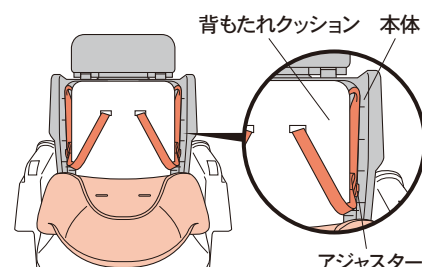
〈下段を使用する時〉



〈上段を使用する時〉



〈収納する時〉



③肩ベルトをシート穴(下段)に通す。

③肩ベルトをシート穴(上段)に通す。

③肩ベルトを一番締めた状態にして(P10参照)、本体と背もたれクッションの間に収納する。

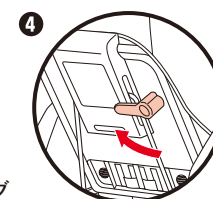
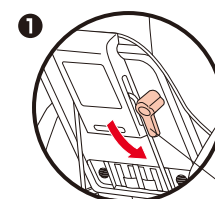
④高さ調節(収納)後、シートをかぶせ、背もたれ横側のゴムベルトをとめる。

⑤肩ベルトに肩ベルトカバーを取り付ける。

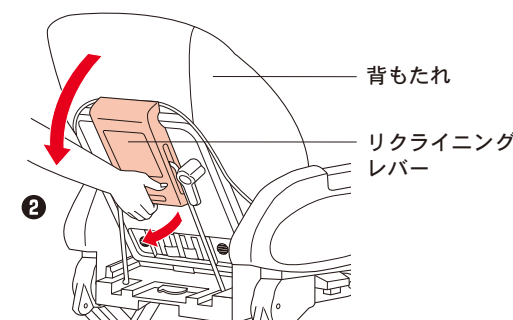
・肩ベルト収納時は、肩ベルトカバーを大切に保管してください。

リクライニングの使い方

・リクライニングは5段階に調節できます。

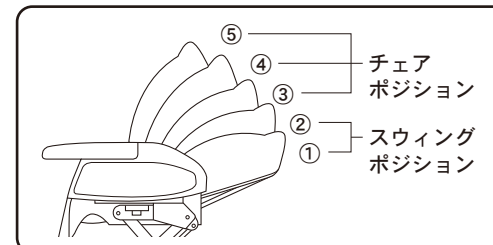


リクライニングロックレバー



背もたれ

リクライニングレバー



チェアポジション
スウィングポジション

- ①リクライニングロックレバーを縦位置にしてロックを解除する。
- ②リクライニングレバーを引き上げ、背もたれの角度を調節する。
- ③利用する角度にして、リクライニングレバーを戻す。
- ④リクライニングロックレバーを横位置にしてロックする。

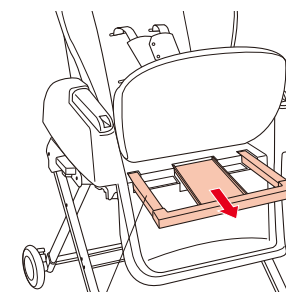
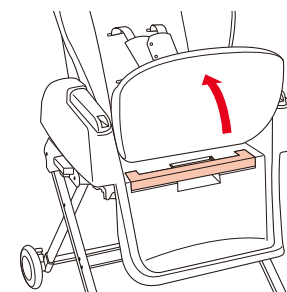


・リクライニング操作時は背もたれ、座面などで手、指などを挟まないように注意してください。
・リクライニング操作時はお子さまが接触した状態や近くにいるときには行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、製品本体が身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
・リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。

足のせの使い方

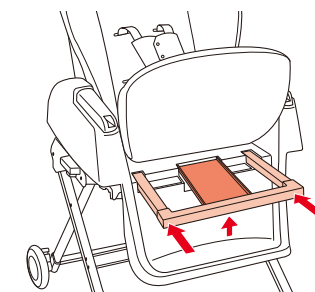
・背もたれを水平に近い角度にするときなど、足のせは座席の延長としてお使いください。

〈引き出し方〉



足のせ

〈戻し方〉



●シートの下の足のせを前方に引き出す。

●足のせの真ん中の部分を下から手で押し上げたまま、足のせを座席に押し込む。



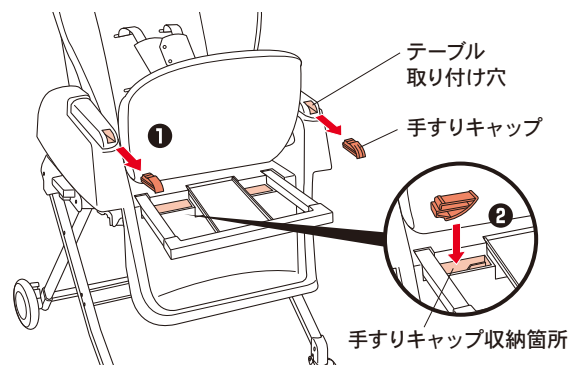
・足のせを押し込む時に手、指などを挟まないように注意してください。

テーブルの使い方

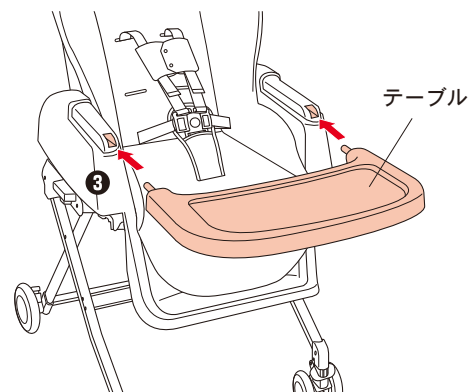


- ・テーブルでは、お子さまの抜け出しや転落を防ぐことはできません。必ずシートベルトを使用すること。
- ・テーブルを取り付けるときは、手、指などを挟まないように注意してください。
- ・テーブルの上に乗ったり、たいたりしない。落下するおそれや破損の原因となります。

取り付け方

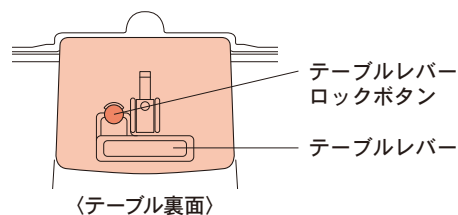


・手すりキャップが取り外しにくい場合は、硬貨などを使って取り外してください。



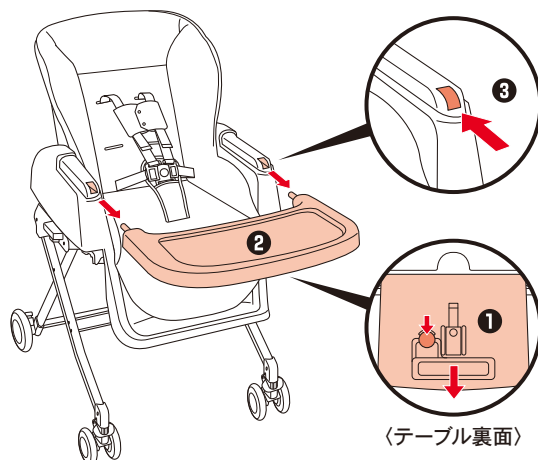
- ① 手すりキャップをテーブル取り付け穴から取り外す。
- ② 手すりキャップ収納箇所に収納する。(左右)

- ③ 本体テーブル取り付け穴にテーブルを合わせて差し込む。
- ④ テーブルを軽く前後に動かし、ロックされていることを確認する。



- ・テーブルの位置は前後に3段階の調節が可能です。テーブルレバーロックボタンを押しながらテーブルレバーを握り前後に動かし、好みの位置に調節してください。(テーブルレバーを離すと自動でロックされます。)
- ・調節後は、テーブルを前後に動かし、ロックされていることを確認する。

取り外し方



- ① テーブルレバーロックボタンを押しながらテーブルレバーを握る。
- ② テーブルを引き抜く。
- ③ 手すりキャップを手すりキャップ収納箇所から取り出し、テーブル取り付け穴に取り付ける。(左右)

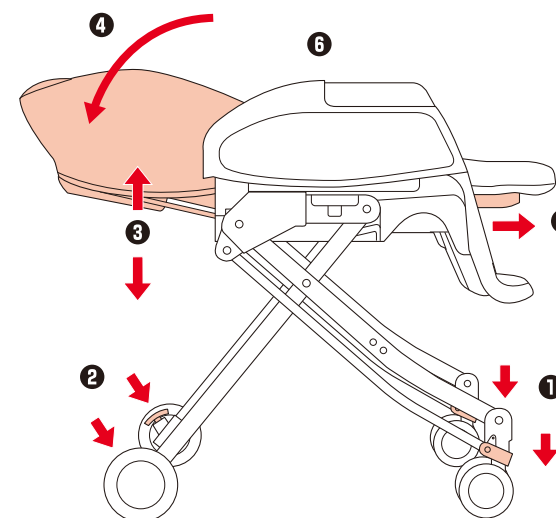


・テーブルを使用しないときは、必ずテーブル取り付け穴に手すりキャップ(左右)を取り付ける。お子さまが指を入れるなどし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

スウィングの使い方

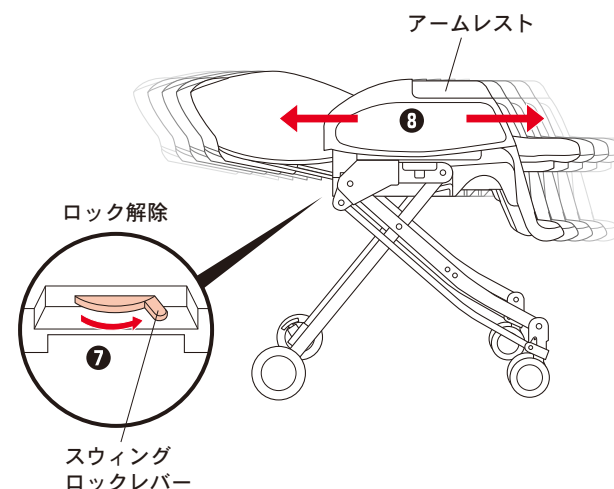


- ・スウィングは、保護者が行い、必ず付き添っていること。またスウィングは1回15分を超えないこと。
- ・傾斜や段差のあるところで使用しない。
- ・スウィングポジション以外ではスウィングさせない。
- ・スウィングさせる時以外は、スウィングロックを解除しない。
- ・スウィング時は、前後に行き当たるまでスウィングさせない。前後に行き当たるとお子さまに衝撃が加わるおそれがあります。
- ・スウィング中は本体などで手、指、衣類などを挟まないように注意してください。



- ① キャスターロックレバーを下げ、ロックする。(左右)
- ② ストッパーを下げ、ロックする。(左右)
- ③ 本体の高さが「1～5」の間にあることを確認する。(P8参照)
※「L」の位置では、スウィングできません。
- ④ 背もたれをスウィングポジションにする。(P12参照)
- ⑤ 足のせを引き出す。(P12参照)
- ⑥ お子さまを乗せ、シートベルトを正しく装着する。(P10参照)

〈スウィング〉



- ⑦ スウィングロックレバーを右へ押し、スウィングロックを解除する。
- ⑧ 手でゆっくり押して、前後ともに行き当たらない範囲でスウィングさせる。



・アームレストを持ってスウィングすることをおすすめします。

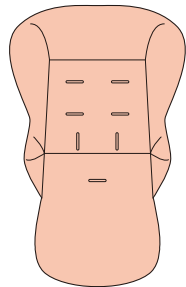
縫製品の使い方



・シートを取り外した状態で、お子さまを乗せて使用しない。

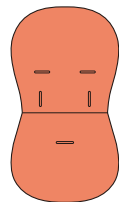
〈シート〉

・必ずご使用ください。



〈新生児マット〉

・肩ベルト位置が下段でのみ使用してください。お子さまの発育に合わせて最長6カ月頃まで使用できます。



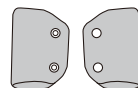
〈股ベルトカバー〉

・36カ月まで必ずご使用ください。



〈肩ベルトカバー〉

・座高46cm(月齢の目安:18カ月)まで必ずご使用ください。

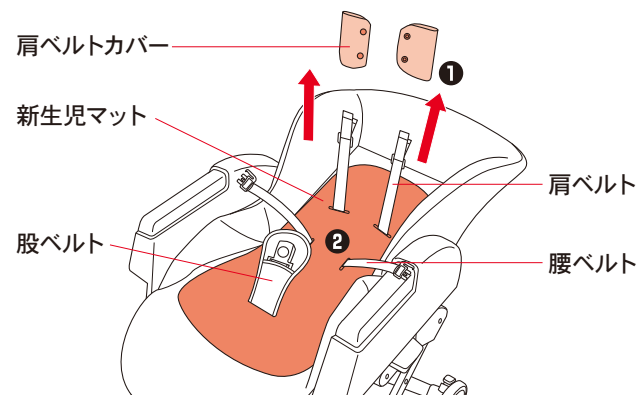


・シートを外した時に見える本体の背もたれ部分にはウレタンのクッションが取り付けられております。ウレタン端材を再成型したもののため、複数の色が混ざったように見えますが、カビや汚れではありませんので安心してご使用ください。

縫製品の取り外し方

〈新生児マットの取り外し方〉

・肩ベルト位置が下段でのみ使用してください。お子さまの発育に合わせて最長6カ月頃まで使用できます。

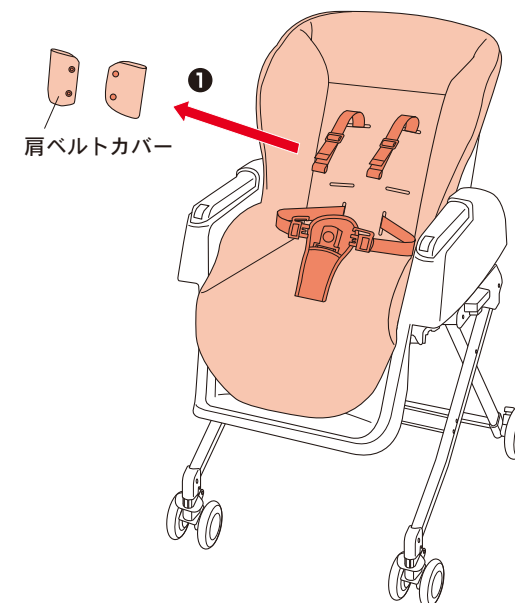


- ①バックルを押して肩ベルト、腰ベルトを外し、肩ベルトカバーを抜き取る。
- ②肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを抜き取り新生児マットを取り外す。

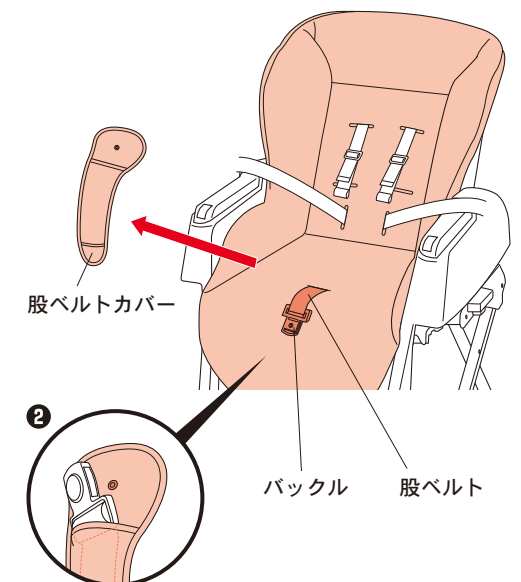
・取り付ける時は逆の手順で行ってください。

縫製品の取り外し方

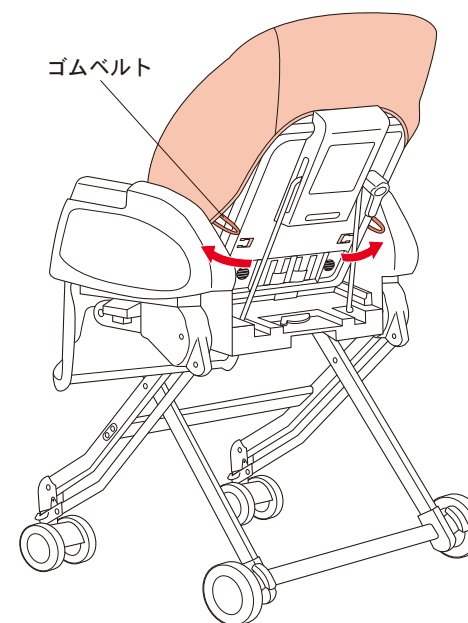
〈肩ベルトカバー・股ベルトカバー・シートの取り外し方〉



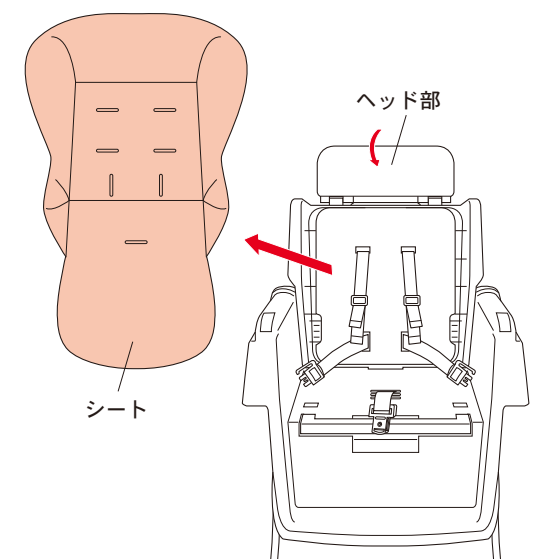
- ①バックルを押して肩ベルト、腰ベルトを外し、肩ベルトカバーを取り外す。



- ②バックル裏のフックを外し、股ベルトカバーを取り外す。



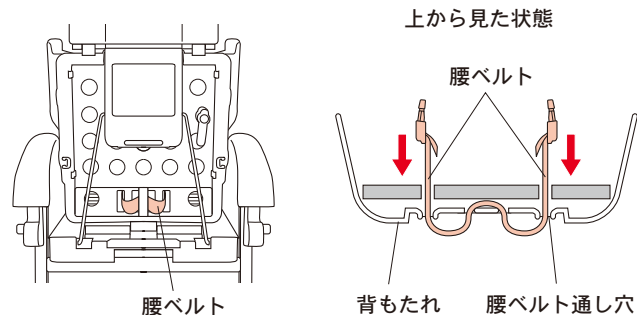
- ③背もたれ背面のゴムベルトを外す。(左右)



- ④ヘッド部からめくり、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを抜き、シートを取り外す。

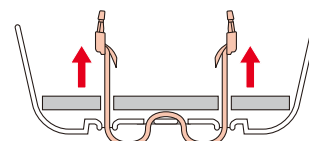
腰ベルトの取り外し方・取り付け方

〈取り外し方〉

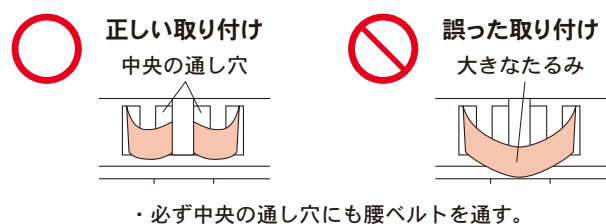
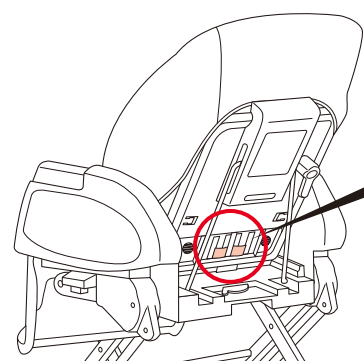


●背もたれの通し穴から腰ベルトを抜き取る。

〈取り付け方〉



●背もたれの通し穴に腰ベルトを差し込む。



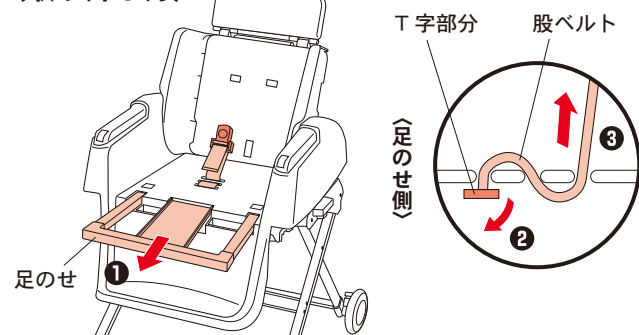
・必ず中央の通し穴にも腰ベルトを通す。



・腰ベルトは正しく取り付け、背もたれ後方に、大きくなるようにする。ベルトが首にかかり、窒息するおそれがあります。

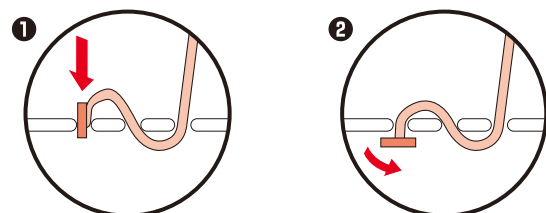
股ベルトの取り外し方

〈取り外し方〉



- ①足のせを引き出す。
- ②座面の股ベルトをゆるめて、T字部分を通し穴にあわせる。
- ③股ベルトを抜き取る。

〈取り付け方〉



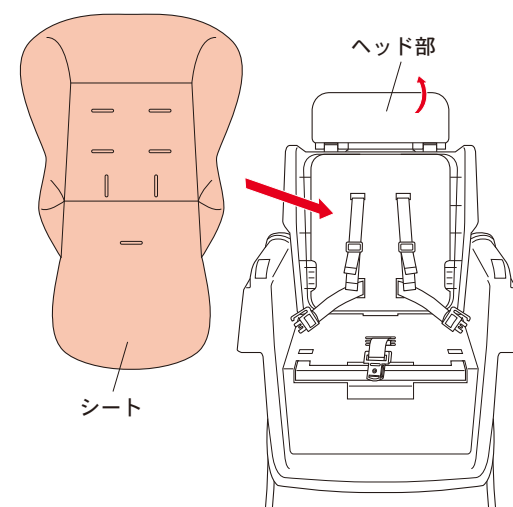
- ①座面の通し穴にT字部分をあわせて差し込む。
- ②股ベルトのT字部分を起こして抜けないようにする。

縫製品の取り付け方

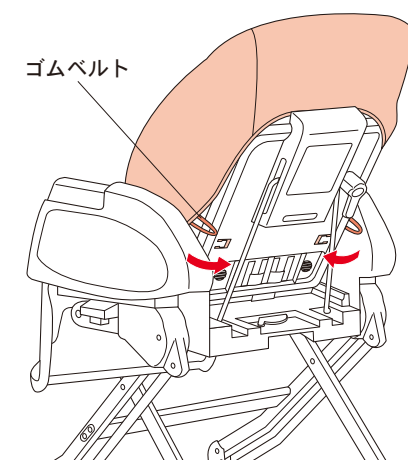


・シートを取り外した状態で、お子さまを乗せて使用しない。

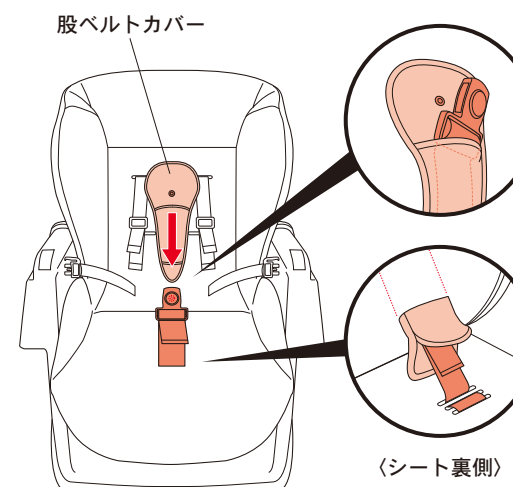
〈シート・股ベルトカバー・肩ベルトカバーの取り付け方〉



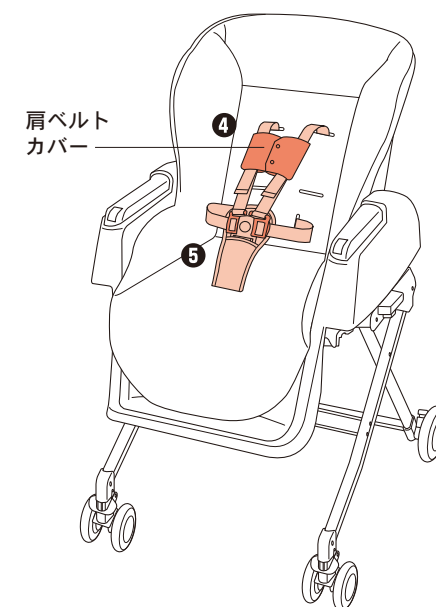
- ①シートをヘッド部にかぶせ、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを通す。



- ②背もたれ背面のゴムベルトをとめる。(左右)



- ③股ベルトカバーを取り付け、バックル裏のホックと股ベルトカバーのホックをとめる。股ベルトカバーの先端はシートの裏側に出す。



- ④肩ベルトカバーを通し、ホックをとめる。
- ⑤肩ベルト、腰ベルトをバックルに差し込む。

縫製品の洗浄方法

・以下の点に注意して洗濯してください。

・ユラリズム

〈シート、新生児マット、肩ベルトカバー、股ベルトカバーの洗浄について〉



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

・お使いの洗濯機のメーカーや設定によっても異なりますが、しっかり洗うコースなど強い洗濯のコースを避けて、標準やデリケートなどのコースで洗濯を行ってください。

・ユラリズム クッション EW

〈シート、肩ベルトカバー、股ベルトカバーの洗浄について〉



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

・お使いの洗濯機のメーカーや設定によっても異なりますが、しっかり洗うコースなど強い洗濯のコースを避けて、標準やデリケートなどのコースで洗濯を行ってください。

〈新生児マットの洗浄について〉



※ねじり又は絞り禁止



注意

- ・縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
- ・アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。

〈肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの洗浄について〉

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合

40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を十分に洗います。その後、乾いたタオルなどで十分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合

中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、タオルに浸し、汚れた所を十分に洗います。その後、冷水又は温水にタオルを浸し中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで十分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

車体のお手入れ



注意

- ・シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。
- ・破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客様サポートセンターへお問い合わせください。

〈樹脂部分のお手入れについて〉

・汚れは、水にひたして固く絞った布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤で拭き取った後、乾いた布で仕上げてください。

〈金属・パイプなどのお手入れについて〉

・フレームについたホコリなどは、そのまま放置しないで必ず拭き取ってください。拭き取りにはよく絞ったぬれタオルを使用してください。

〈車輪のお手入れについて〉

・車輪の汚れがひどいときには、中性洗剤で拭き取ります。その後、よく絞ったぬれタオルで中性洗剤を拭き取ってください。

〈ネジ・ナット類について〉

・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検してください。ゆるみがある場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P21参照)

保管について

- ・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- ・上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。



注意

- ・火気及び温風機の付近など、高温になる場所に放置しないでください。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。

廃棄について

- ・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
- ・環境保護のため、指示された場所以外には廃棄しないでください。

SGマーク制度について

SGマーク制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって人身事故が発生した場合に、製品安全協会が賠償措置を行う制度です。

- ・ハイローベッド&チェアの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。
- ・SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではありません。
- ・人的損害(治療費等)を賠償するものであり、物的損害は賠償の対象となりません。



【製品の欠陥によって事故が起きた場合】

事故が発生した日から60日以内に製品安全協会へ連絡してください。または、事故が起きたらすぐに製品安全協会へ連絡してください。

ご連絡は製品安全協会ホームページの事故申出フォームをお使いください。

<https://www.sg-mark.org/reparation>



保証とアフターサービスについて

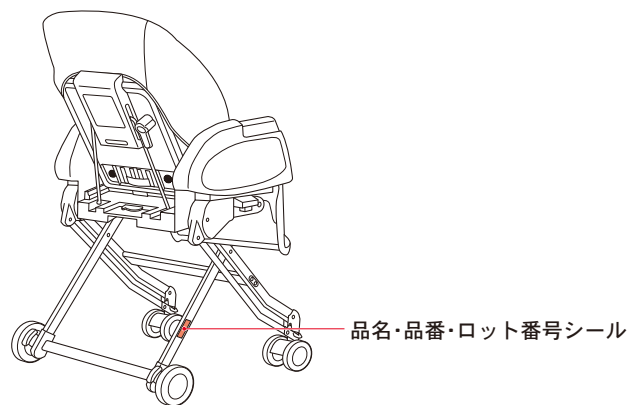
〈保証について〉

- ・保証期間中(購入日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。
- ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1カ月です。)
- また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。)

〈アフターサービスについて〉

- ・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆりみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号(下図参照)をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、本製品脚部の品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



お買い上げ時レシート
貼り付け位置

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート(領収書)を貼り付けてください。

アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

受付時間: AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)